



PR にご協力を
お願いします



出雲市出身や出雲市に心をお寄せいただく全国の皆さんからふるさと寄附を募り、皆さんの思いにより、市のさまざまな事業に活用させていただいています。令和2年度は、約16,300名の皆さまから、4億9,597万円を超える温かいご寄附をいただきました。ご寄附は、令和3年度の下記事業などに活用させていただく予定です。

出雲の魅力発信にもつながる「日本の心のふるさと出雲」応援寄附について、市外にお住まいの皆さんにご紹介いただきますようご協力をお願いします。

出雲の自慢の逸品をお届けします

ご寄附をいただいた市外在住の皆さんに、魅力ある出雲の返礼品をお届けいたします。
(出雲市在住の人が寄附をされても返礼品を送ることはできません。)
4月から返礼品をリニューアルしました。約390の返礼品の中からお選びいただけます。

ふるさと寄附の申込み

ふるさと寄附の申込みにつきまして、詳しくは、市ホームページ [ふるさと寄附](#) を
ご覧いただくか、下記までおたずねください。

令和3年度ふるさと寄附活用事業

- 縁結びのまち出雲のシティセールス・ブランド化推進
- プロスポーツ化支援(女子サッカー)
- 産業・観光の振興
- 芸術文化の振興、歴史文化資源の保存・活用
- 福祉サービスの充実、高齢者福祉
- 市民参画と協働によるまちづくり
- 出雲の魅力の情報発信
- 環境施策の推進
- スポーツ振興
- 教育の充実、子育て支援
- その他市長が必要と認める事業

おたずね／縁結び定住課 ☎21-6274 メール：izumo-brand@city.izumo.shimane.jp

出雲いりすの丘公園

サウンディング型市場調査を実施します

「出雲いりすの丘公園」は、日本三美人の湯として有名な「湯の川温泉」の東側丘陵地に、農畜産物加工体験販売施設、温泉施設、遊園施設などを有する農業公園として、平成12年4月にオープンしましたが、平成20年4月から一部の施設を除き、休園状態となっています。

いりすの丘再生に向けて、民間事業者の皆さまとの“対話”を通じて土地・建物等の活用のアイデアを調査する「サウンディング型市場調査」を実施します。

※サウンディング型市場調査とは…対象施設の活用方法や事業手法について、民間事業者等の皆さまから広く提案を受け、直接の対話により市場性を調査するものです。

実施スケジュール

内 容	日 程
サウンディング実施に係る公表	5月26日(水)
参加事業者説明会参加受付	随時受付
参加事業者説明会の開催	第1回 6月、第2回 7月、第3回 8月 ※再度の現地見学や別日程の調整も可能
サウンディングの参加受付	7月～9月
サウンディング実施	7月～9月(事業者の参加希望日により調整)
結果公表	サウンディング実施期間終了後

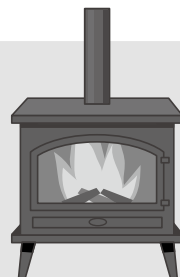
おたずね／観光課 ☎21-6995

木質バイオマス熱利用設備の導入に対する補助制度のご案内

市内における再生可能エネルギー設備の導入を促進するため、7月1日から新たに木質バイオマス熱利用設備の設置に対する補助を始めています。

補助制度の概要

- | | |
|--------------|---|
| 1. 補助制度名 | 出雲市再生可能エネルギー設備等導入補助金 |
| 2. 補助対象となる設備 | 薪ストーブ及びペレットストーブ |
| 3. 補助金の額 | 対象経費の1/5以内（上限15万円） |
| 4. 補助対象者 | 市内に住所を有する個人及び市内に事業所を置く事業者 |
| 5. 補助対象経費 | 対象設備の購入及び設置に係る経費 |
| 6. 設備の主な要件 | ①市内の住宅または事業用の建物に設置すること
②市内に事業所を置く事業者から、設備または設備付きの建物を購入すること
③未使用品であること（中古品は対象外）
④法定耐用年数（6年間）以上使用すること
⑤国が作成する「環境ガイドライン」等を遵守すること |



出雲市では、太陽光発電設備、蓄電池設備、太陽熱利用設備（ソーラーシステム）の設置及び林地残材集積装置の購入に対しても補助を行っています。

各種補助金の要件、補助金額等詳細については、市ホームページに掲載していますのでご覧ください。

なお、上記の設備は全て、市内に事業所を置く事業者から購入することが補助要件となります。

詳細はこちら
（市ホームページ）



おたすね／産業政策課 ☎21-6549

～コロナ禍・ポストコロナに向けたWEB交流会～

身近な技術・アイデアと医療現場をつなぐ「やさしい医工連携」のススメ

参加者
募集

市では、島根大学医学部と市内事業者と連携し、今までになかった商品・サービスを開発する「やさしい医工連携」を推進しており、世界初の製品が誕生しています。

コロナ禍だからこそ活かすことのできる「やさしい医工連携」の取組について紹介します。事業者の方はもちろん、興味・関心のある方ならどなたでも参加できます。

日時 8月18日(水) 14:00～16:00

場所 オンラインにて開催(Microsoft Teams)

内容 ※参加には、インターネット環境が必要になります。

○基調講演 「人類未曾有の大ピンチをビッグチャンスに変える創造力と実践力！」

講師／中村 守彦 氏（島根大学地域未来協創本部・地域医学共同研究部門長 教授）

○パネルディスカッション

・永島 好教 氏（嵯河内 営業部課長） ・矢野 牧江 氏（島根大学病院 看護師） ほか

○産官学高金WEB交流会

WEB交流会と題して、参加者からの素朴な疑問から専門的事項、コロナ禍での不安や困りごとなどについて答えていくほか、ビジネスチャンスにつながる医療現場のニーズ紹介なども行います。

申込方法 専用のホームページ(しまね電子申請サービス)からお申し込みください。



Face Shield

「やさしい医工連携」で誕生した
嵯河内のフェイスシールド

しまね電子申請



やさしい医工連携 検索

おたすね／商工振興課 ☎21-6541